森林ウォーク（春）　森林の学びを深めています

森林ウォーク（春コース）は、京都大学フィールド科学教育研究センターの和歌山研究林を訪問し、様々な形態の森を五感「色・音・におい・手触り・味」で感じることを大切にした取り組みです。今回は有田川町と田辺市の尾根筋を歩いてきました。木々のたくましい姿や人工林の様子等、日頃気づかない姿を観察することができました。一方で、自然災害や動物被害等、自然の現実にも向き合いました。

木々の葉や幹の様子を観察しています

ドローンによる　森の観察です。昔は人の力で実施してきたことが、機械による代替も進んでいるようです

植林の説明です